

6 再配置計画

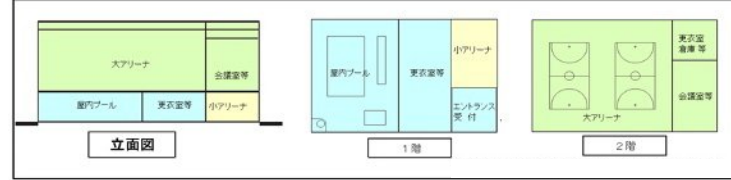
【公共施設集約化の対象施設と延床面積の変化】

※端数処理のため合計は合いません。

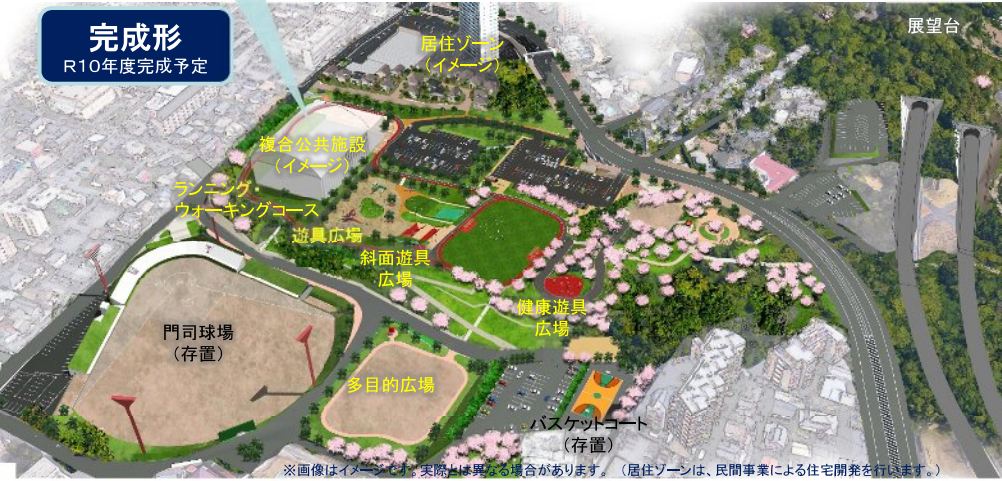
現況施設	現状	再配置計画 (複合公共施設)	主な理由
市民利用施設	5,800㎡	4,600㎡	・体育室は必要な広さを確保し一体化により縮減 ・柔剣道場は多目的利用により縮減 ・生涯学習センター大里分館(旧勤労婦人センター)の体育室などは、スポーツ施設との複合化
門司体育館	2,500㎡		
大里柔剣道場	1,200㎡		
門司生涯学習センター大里分館 (旧東部勤労婦人センター)	2,000㎡		
大里プール	200㎡	2,500㎡	・屋内プールとするため増
計	5,900㎡	7,100㎡	

【複合公共施設のイメージ】

※この図面はイメージです。具体的な核計は、門司区の各施設の方向性等を踏まえ、今後実施する予定です。



7 イメージパース



※画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。(居住ゾーンは、民間事業による住宅開発を行います。)

整備イメージ (完成形)

※図面はイメージです。実際とは多少異なる場合があります。

整備の根本方針
旧門司球場跡地に、公共施設を生かし、複合化・多機能化する
ことで、市民サービスの効率化及び公共施設に係るコスト削減を図るとともに、魅力的な公園や居住環境の創出を図る。

スポーツ・多目的施設

- 複合公共施設 (延床面積約 7,100㎡)
大里地域のスポーツ施設の集約を図る
- ・門司体育館
- ・大里プール
- ・大里柔剣道場
- ・生涯学習センター大里分館 など

居住ゾーン (約1.35ha)
事業者：第一交通産業(株)・第一ホーム(株)
コンセプト「自然と調和のとれた街づくり」

- ・住宅・商業テナント・大里公園が調和した住まいづくり
- ・食品・日用品・化粧品・酒類など幅広い商品を取り扱う商業施設を誘致

商業施設
マンション (88戸)
戸建住宅 (20戸)

玩具広場

- ・玩具広場: 約 2,000㎡
- ・公園の中心に各種遊具を配置して、高低差約7mを活かした遊具子どもたちが安心して遊べる場
- ・斜面遊具広場: 約 1,500㎡
- ・高低差約7mを活かした遊具

東側駐車場

- 普通車: 109台
- 車いす用: 3台
- 公園の中央に多目的トイレ

芝生広場

- ・芝生広場: 約 3,000㎡
- 各種イベントやピクニック、学校の遠足等、気軽にスポーツ・レクリエーションが楽しめる芝生の広場
- 外周にはゴム舗装園路(短距離一周約200m)ジョギングなどにも利用できる園路(長距離一周コース約600mの予定)

花見広場・健康遊具広場

- ・健康遊具広場: 約 350㎡
- サクラと眺望を活かした緑地空間
- 花見広場に高齢者など日常的に健康づくりに取り組むことのできる健康遊具

8 再配置のスケジュール

施設	項目	H28年度 2016	H29年度 2017	H30年度 2018	R元年代 (R元~10年度)															
					前期			中期				後期								
					R元年度 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028						
既存施設	大里地域のニーズ受け入れ態勢の整備																			
競輪場跡地	競輪場の解体・撤去																			
	基本計画策定																			
公園広場ゾーン	公園の設計・整備			設計																
スポーツ施設ゾーン	広場として暫定利用																			
	集約・再配置の検討																			
	集約・再配置の実施																			
居住ゾーン	住宅の計画・整備		計画		事業者公募															

R3年度~
暫定広場の開放
※複合公共施設の整備箇所

R5年度末
公園広場ゾーンの完成

R10年度末
複合公共施設の完成

R5年度末
居住ゾーンの完成